



小学生、高校生、住民ら3000人

# 防災体験会を実施

赤平の植村建設などが主催 救命訓練などに参加

【赤平】9月の防災月間にちなんだ体験型イベント「市民防災体験会」が19日、市内幌岡町の植村建設DXフイールド「ユニコンフイールド」で行われた。赤平小の児童や岩見沢農業高、砂川高、芦別高の生徒、地域住民ら約3000人が参加し、防災体験や防災時に役立つ技術に触れたほか、広いフイールドを活用し、多くの団体協力による大規模救助訓練などを見学した。

植村建設と植栄興業、赤い志民サポートが主催し、2009年から始めた事業。本年度は数年ぶりに赤歌警察署も協力し、高性能救助車の展示や土砂埋没車両救出訓練への参加を行った。

昨年整備された「ユニコンフイールド」内には、降雨体験車や流水体験車など災害時の状況を体感できる移動施設、ロープワークや救急救命訓練など災害時に役立つブース、ドローンサッカーや重機遠隔操作など災害時に活用される技術を体験できるコーナーなど、22のテーマが集合。学

生を中心とした参加者たちは、スタンパライ形式で各体験を楽しみながら、災害時に役立つ知識を身に着けた。その後、炊き出し訓練を兼ねた豚汁で昼食を取り、午後からは土砂埋没車両救出訓練、車両脱出非常時訓練を見学した。

【村澤由香里】